

【2025 年度/専門科目領域/専門科目群/人間コミュニケーション学科】

科目名	ナンバリング	区分 (必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等
社会福祉調査の基礎		必修	2	2	前期
担当教員	研究室	電子メール ID	オフィスアワー		
間嶋 健	B312	ken.majima	水曜日 12:10~13:00		
授業の目的・概要	<p><目的>社会福祉に関するデータを読み取る技能を身に付ける。各種の調査法を習得し、実際の調査を計画・実施・分析できるようになる。</p> <p><概要>相談援助を行う際だけでなく、一般社会で働き、生活していく上で、社会に関する様々な統計データを正しく読み取り、データを活かして何かしらの判断を行うことが現代人には求められている。本講義では社会福祉調査に関する基本的事項を概説し、受講者自らが調査の実施、結果の分析・報告ができるような統計的技能、そして科学的態度の習得を目指す。エクセルを使用した初歩的なデータ分析も行う。</p>				
授業形式・方法	<input checked="" type="checkbox"/> 対面授業 <input type="checkbox"/> 遠隔授業(双方向型) <input type="checkbox"/> 遠隔授業(自主学習) <input checked="" type="checkbox"/> 講義 <input checked="" type="checkbox"/> 演習 <input type="checkbox"/> 実習 <input type="checkbox"/> 実技 <input type="checkbox"/> PBL <input type="checkbox"/> 反転授業 <input type="checkbox"/> アイカッション・イベント <input checked="" type="checkbox"/> グループワーク <input type="checkbox"/> プレゼンテーション <input type="checkbox"/> 実習・フィールドワーク <input type="checkbox"/> その他 ()				
学習上の助言	毎回講義に出席し、積極的な態度で受講することを望む。PC 操作について不安のある受講生は、授業時間外にも担当教員へ直接質問するように心がけること。				
教科書	最新 社会福祉士養成講座 精神保健福祉士養成講座 5 社会福祉調査の基礎 / 編: 一般社団法人日本ソーシャルワーク教育学校連盟 / 中央法規出版				
参考書	特になし。				
外部教材	特になし。				
学生が達成すべき行動目標				関連卒業認定・学位授与方針	
①	社会調査の意義、社会福祉との関係性について説明することができる。			HSU(1)~(3) HC(2)、(3)、(5)	
②	量的調査と質的調査の方法、特徴について説明することができる。			HSU(1)~(3) HC(5)、(6)	
③	調査票(質問紙)を作成し、調査の実施・分析・報告を行うことができる。			HSU(1)~(3) HC(5)、(6)	
④	社会調査に関する倫理について理解し、説明することができる。			HSU(1)~(3) HC(1)~(3)	
⑤	統計データを正しく読み取り、説明することができる。			HSU(1)~(3) HC(5)、(6)	
授 業 計 画					
回	学習内容等	授業の方法	学習課題・学習時間(時間)		
1	オリエンテーション、授業の進め方について説明する。	講義	シラバス・配付資料を熟読し、本講義の概要をまとめる。	2	
2	社会福祉調査の概要(意義・目的)について学ぶ。	講義・演習	教科書の該当頁を熟読し、講義内容について整理する。	4	
3	社会福祉調査における倫理と個人情報の保護について学ぶ。	講義・演習	教科書の該当頁を熟読し、講義内容について整理する。	4	
4	調査研究に必要な統計的手法について学ぶ①平均値	講義・演習	教科書の該当頁を熟読し、配付資料の練習問題に取り組む。	4	
5	調査研究に必要な統計的手法について学ぶ②中央値	講義・演習		4	
6	調査研究に必要な統計的手法について学ぶ③最頻値	講義・演習		4	
7	量的調査(特徴・方法)について学ぶ。	講義・演習	教科書の該当頁を熟読し、講義内容について整理する。	4	
8	量的調査における質問紙の作成方法について学ぶ。	講義・演習	教科書の該当頁を熟読し、実際に質問紙の作成作業を行う。	4	
9	量的調査の実施、データ分析について学ぶ①	講義・演習	教科書の該当頁を熟読し、実際にデータ分析作業を行う。	4	
10	量的調査の実施、データ分析について学ぶ②	講義・演習		4	
11	質的調査(特徴・方法)について学ぶ。	講義・演習	教科書の該当頁を熟読し、講義内容について整理する。	4	
12	質的調査における調査計画の立て方について学ぶ。	講義・演習	教科書の該当頁を熟読し、講義内容について整理する。	4	
13	質的調査の実施、データ分析について学ぶ①	講義・演習	教科書の該当頁を熟読し、講義内容について整理する。	4	
14	質的調査の実施、データ分析について学ぶ②	講義・演習	教科書の該当頁を熟読し、講義内容について整理する。	4	

【2025 年度/専門科目領域/専門科目群/人間コミュニケーション学科】

15	ソーシャルワークにおける評価について学ぶ。	講義	教科書の該当頁を熟読し、講義内容について整理する。	6					
試	定期試験 達成度評価・評価のポイントを参照								
達成度評価									
総合評価割合 (%)		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	合計		
		60	0	0	0	40	100		
総合力指標	知識・技術力	30	0	0	0	10	40		
	思考・推論・創造する力	30	0	0	0	10	40		
	協調性・リーダーシップ	0	0	0	0	0	0		
	発表・表現伝達する力	0	0	0	0	0	0		
	コミュニケーション力	0	0	0	0	0	0		
	取組みの姿勢・意欲	0	0	0	0	20	20		
	問題を発見・解決する力	0	0	0	0	0	0		
評価のポイント					フィードバックの方法				
評価方法	行動目標	評価の実施方法と注意点							
試験	①	✓	講義内容の理解度について、学期末に定期試験を実施し評価する。社会福祉調査に関する適切な知識に加え、各種統計手法の特徴を正しく理解し、適切な方法を自ら選択、実施できることが必要となる。				学内掲示、オフィスアワー、そして、Microsoft Teams を利用して総評を行う。		
	②	✓							
	③	✓							
	④	✓							
	⑤	✓							
	⑥								
レポート	①								
	②								
	③								
	④								
	⑤								
	⑥								
その他	①	✓	講義中に課した各種課題の達成度、そして練習問題や質疑応答等への取組みの姿勢・意欲を総合的に評価する。				学内掲示、オフィスアワー、そして、Microsoft Teams を利用して個別にフィードバックを行う。		
	②	✓							
	③	✓							
	④	✓							
	⑤	✓							
	⑥								
備 考									
他 担 当 教 員	なし								
教員の実務経験	なし								
実践的授業の内容	該当せず								
そ の 他	<ul style="list-style-type: none"> ● ノートパソコンを使用する授業となるため必ず持参すること。なお 1 回目の授業回にノートパソコンの動作環境について確認を行う。 ● Microsoft Teams を用いて諸事の連絡を行うので確認を怠らないこと。 ● 全 15 回が対面授業であるため、大学が示した感染症予防対策の指針を遵守すること。感染症予防対策の観点から、教員の指示に従わない行動をとった場合には受講を認めないことがある ● 今後の感染症の社会情勢によって再度シラバスの変更が行われることもある。 								